

Patient Information

ID	#####	主治医	
性別	女性	検者	
年齢	45歳	手術日	##年 ##月 ##日

診断および術式 頚椎症性脊髄症、後方固定術を併用した頚椎椎弓形成術

Comment

記録電位
MEP

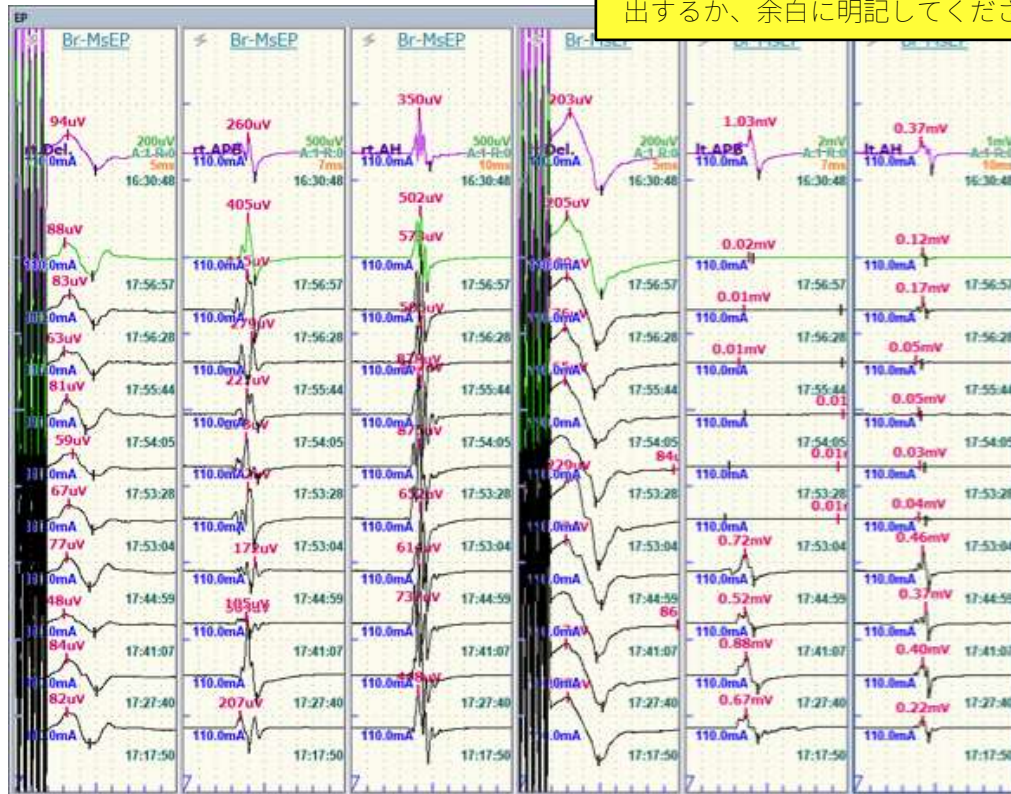
赤字で示した箇所の明記が必須です。

記録部位 (モニタージュ)
MEP: 上肢: 三角筋 (左右)、短拇指外転筋(左右)
下肢: 母趾外転筋 (左右)

所見
頚椎インスツルメンテーションによる固定操作で左母指外転筋の電位が記録出来なくなり(No1, 17時53分)、インスツルメントによる固定を緩めるとMEPが記録できるようになり(No2, 18時16分)、その位置で再固定した。手術終了時には電位が回復した。

判定
頚椎インスツルメンテーション操作による一過性の脊髄障害。レスキュー症例。

MEP (No 1)



被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。

申請者の署名 (記名) が必要です。

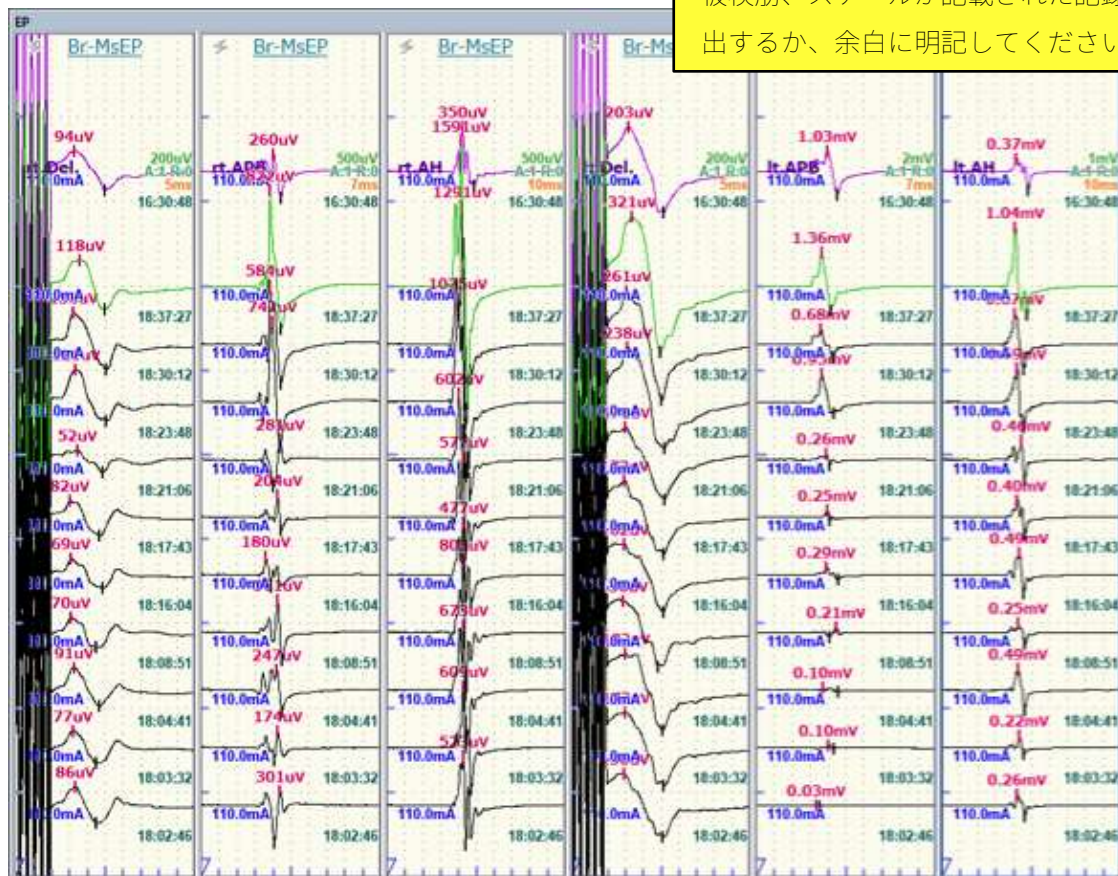
Signature

○ × △ □

Patient Information

MEP (No 2)

被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。



申請者の署名（記名）が必要です。

Signature ○ × △ □